

経済社会開発計画（アンティグア・バーブーダ）

経済社会開発計画署名式の開催

2017年1月23日

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

経済・開発協力班

23日、経済社会開発計画の署名式典が、アンティグア・バーブーダのセント・ジョンズにて開催されました。これは、干ばつ被害が顕著な同国において農業に必要な水を確保するための淡水化プラントを購入する目的で、2億円の無償資金が供与されたものです。

同式典には、先方からブラウン首相、ニブス農業・国土・漁業・バーブーダ島問題大臣が、我が方から岡田大使が、さらに先方政府関係者などが出席しました。

挨拶の中で岡田大使は、カリブの小島しょ国は気候変動による自然災害に脆弱であり、淡水化プラントが同国の水資源確保に十分に貢献することを期待している。気候変動対策は、日本のカリブ地域に対する援助の重点分野であり、2015年6月に署名した経済社会開発計画（防災）及び2016年11月に署名した草の根・人間の安全保障無償資金協力「アンティグア・アクアポニックスによる農業教育促進計画」はその証拠である旨述べました。

ブラウン首相は、過去4年間干ばつに見舞われ、十分な水の確保ができなかったが、今回供与される淡水化プラントにより、雨が降らなくても必要な水が供給できるようになる。アンティグア・バーブーダは気候変動に最も脆弱な国であるが、本プラントは農民に対して大きな貢献をもたらし、食料安全保障にも繋がるもので、深く感謝している旨述べました。

また、ニブス大臣は、ポイント・ワーフへのレーダーモニタリングシステム装置の新規設置を含む「水産関連機材整備計画」の供与式に引き続き、今回は淡水化プラントを供与いただくこととなった。アンティグア・バーブーダは気候変動の影響による干ばつに苦しんでいるが、今回の経済社会開発計画により農民が使う水を供給できることとなるため、農業省として特に感謝している旨述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を強めるため、様々な分野でドミニカ国に対する開発支援を実施していく考えです。

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222

E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



署名式の様子（岡田大使（中央右）、ブラウン首相（中央）、ニブス大臣（中央左））



岡田大使（右）とブラウン首相（左）による口上書交換

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp